

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 30 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県北蒲原郡聖籠町東港3-75-6

氏名 日本シイエムケイ株式会社 新潟工場
国内製造部 部長 田代竜司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-256-1311

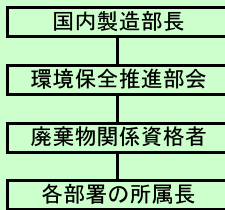
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本シイエムケイ株式会社 新潟工場
事業場の所在地	新潟県北蒲原郡聖籠町東港3-75-6
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	令和6年度製品売上 150億円
③従業員数	860人
④産業廃棄物の一の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 処理業者へ委託 ⇒ 再資源化・廃油 処理業者へ委託 ⇒ 焼却 ⇒ 残渣再利用・廃プラスチック類 処理業者へ委託 ⇒ 破碎 ⇒ 助燃材・木くず 処理業者へ委託 ⇒ 破碎 ⇒ 助燃材・金属くず 鉄・非鉄に分別 ⇒ 再資源化・ガラス、陶磁器くず 処理業者に委託 ⇒ 再資源化・廃酸・廃アルカリ 処理業者に委託 ⇒ 中和 ⇒ 再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

《廃棄物に関する管理体制》



※ 廃棄物処理等に関する部会(部会人数:4名)

廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理を行う上で必要な事項を検討する。

- ・廃棄物の細分別化による有価物処理への対応
- ・廃棄物処理計画の検討
- ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・処理業者、再生処理業者の調査、選定、視察
- ・特別管理産業廃棄物管理責任者資格保有者(11名)

《管理体制について》

環境管理活動として三か月に一回、環境保全推進部会を開催。この中で省資源・リサイクルについての計画の進捗状況を確認し、計画未達成があれば是正措置をしています。この環境保全推進部会の内容は、経営層が出席する

新潟工場活動報告会(毎月)に上申されレビューされます。

廃棄物は生産原単位にて監視しています。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(6年度)実績】

①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	排出量	126.40 t	31.60 t	946.50 t	33.04 t	20.53 t	0.28 t	12.40 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	排出量	0.20 t	18.17 t						

(これまでに実施した取組)

- ・廃プラスチック：ストレッチフィルムの有価処理実施
- ・廃プラスチック：フィルム剥離カス圧縮、水分除去による減量化

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	排出量	130.00 t	30.00 t	820.00 t	34.00 t	21.00 t	0.50 t	15.00 t	1.00 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	排出量	1.00 t	20.00 t						

(今後実施する予定の計画)

- ・廃プラの有価化を推進
- ・蛍光灯のLED化をすすめ水銀使用産業廃棄物の削減

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①現状	廃プラを素材ごとに集め有価化をはかる
-----	--------------------

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	分別を細分化し、有価物の価値向上を行う。
-----	----------------------

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】		汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	126.40 t	31.60 t	946.50 t	33.04 t	20.53 t	0.28 t	12.40 t	0.00 t
② 計画	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
	全処理委託量	0.20 t	18.17 t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
廃プラスチック類の分別を細分化して有価化を行う。									

【目標】									
② 計 画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木くず	金属くず	ガラスくず	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	130.00 t	30.00 t	820.00 t	34.00 t	21.00 t	0.50 t	15.00 t	1.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.00 t	30.00 t	0.00 t	0.00 t	3.00 t	0.20 t	20.00 t	1.00 t
	再生利用業者への処理委託量			820.00 t	34.00 t	18.00 t			
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託								
	産業廃棄物の種類	水銀使用産業廃棄物	管理型混合廃棄物						
全処理委託量	1.00 t	20.00 t							
優良認定処理業者への処理委託量	1.00 t	20.00 t							
再生利用業者への処理委託量									
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託									
(今後実施する予定の取組)									
<p>廃プラスチックの中でも多く排出しているクラッシャー（廃プラ切断辺）に含まれる銅を回収して有価化を図る</p>									
※事務処理欄									